

来
年
4
月
か
ら
ご
ミ
処
理
方
式
が
十
勝
の
家
庭
系
の
一
般



菊地康雄議員

問 広域処理加入に伴う
ゴミ処理方式変更の問題点は

答 独自処理に対する
議論・研究を進めたい

廃棄物は一部を除いて現状とほぼ同じだが、問題は事業系の特に生ゴミ処理。

方式変更後、事業者は処理業者委託か帯広くりりんセンターへの自己搬入の二者択一が不可欠になる。

どちらを選択しても現状より数倍負担増になると予測されるが、町としては他町村にならない事業者への支援はしないということ、現況より住みにくい状況は人口減対策に逆行すると危惧している。

処理経費大幅増を回避し、安心して営業継続が図れる緩和策、生ゴミ処理における既存バイオガス発電利用や新規小規模バ

イオガス発電方式導入などに知恵を絞っていただきた

浜田町長

清掃センター大規模改修や埋立処分場新規整備に多額の経費がかかることから広域処理移行を決定した。

事業者の処理費用増が見込まれるものの、他自治体との均衡を考慮し、また、補助算定基準設置が難しいことから影響緩和策は実施しない。

許可業者34社の一覧表を配布するので、集団委託などコスト削減方法の紹介や生ゴミ独自処理に対する議論・研究を進めたい。



「第8回子ども議会」を開催

～新得・屈足南・富村牛の小学6年生が、一般質問～



昨年11月18日、町内の全小学校6年生40人(当日は1名欠席)が議員となった「第8回子ども議会」が、町議会本会議場で開催されました。

町議会の湯浅佳春議長から、「自分たちが大人になったときにどんな町になつていたらいいか、そのためにはどんなことをしたらいいか、みんなで考えることはとても大切なこと」とあいさつをいただき開会。

初めて入る本会議場に戸惑っていた子ども議員でしたが、新得町の少年団活動についてや通学路の安全確保についてなど、事前に準備していた8項目について町長と教育長に一般質問を行いました。

※詳しい内容は、『広報しんとく12月15日号』に大きく掲載されていますので、そちらをご覧ください。